

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1852	技能五輪国際大会本番を想定！ 通訳者を介したコミュニケーション力強化法 <実践編>B	令和4年7月11日(月)～7月12日(火) 令和4年9月5日(月)～9月6日(火)	30	2
開催会場	職業能力開発総合大学校（東京都小平市）	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	大会本番で、通訳者を介して、どのように自分の意見を伝えれば良いのか、どのように質問すれば満足のいく回答をもらえるのか、など実践的なコミュニケーション・スキルを習得します。また、他国エキスパート（外国人外部講師）とのコミュニケーションのシミュレーションを行います。 (到達目標) ・通訳を通じたコミュニケーションが円滑にできる。			
最低限 必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 第46回技能五輪国際大会の最新状況 (1) 技能五輪国際大会の最新情報アップデート (2) Test Project2022とMarking Scheme2022 (3) 大会参加に向けての準備 (第46回技能五輪国際大会の最新状況と競技課題・採点基準等の準備状況を解説します)		1 H	
	2 通訳者を介したコミュニケーション・トレーニング (1) ディスカッション・シミュレーション (2) 質問・シミュレーション (エキスパートが大会で直面する問題事例を基に、通訳者を介して、それをどのように解決してけば良いのか、手順と方法について習得します。また、海外エキスパートにどのようにすれば自分の意見を伝えることができるのか、シミュレーションしながら習得します)			5 H
	3 通訳を通じたディベート法の実践 (1) 技能標準とそのルール化 (2) 技能五輪国際大会におけるエキスパート間コミュニケーション法 (3) 通訳を通じたコミュニケーション法 (エキスパート・ミーティング、選手とエキスパートのコミュニケーションをシミュレーションし、通訳を通じたコミュニケーションや本番に向けた課題を洗い出します。エキスパート役のネイティブ・スピーカーを各グループに配置し、共通のテーマに沿って議論を行う形のトレーニングです)			6 H
		1 H	11 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	通訳者、エキスパート及び選手が同時に大会本番の流れを確認できる唯一の研修となります。また、WorldSkills Japanのメンバーが互いにその準備状況を確認できる機会ともなります。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	菊池拓男（情報通信ユニット） 半田純子（国際・地域支援ユニット）外部講師（ネイティブ・スピーカー、技能五輪国際大会通訳経験者等）			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				